

評価シート 様式

取組名	kikidas(ききだす)プロジェクト ～木々(きぎ)を出す(だす)、地元から聞き出す(ききだす)、そして森林の危機(きき)を脱す(だっす)る		
実施団体名	湖東地域材循環システム協議会	対象地域	滋賀県湖東地域(日野町、東近江市、多賀町、愛荘町、彦根市)
(代表団体名)	株式会社 マルト	推薦団体名	

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	kikidas(ききだす)プロジェクト ～木々(きぎ)を出す(だす)、地元から聞き出す(ききだす)、そして森林の危機(きき)を脱す(だっす)る		
実施団体名	湖東地域材循環システム協議会	対象地域	滋賀県湖東地域(日野町、東近江市、多賀町、愛荘町、彦根市)
(代表団体名)	株式会社 マルト	推薦団体名	

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○ 複合性 森林資源の調査、ペレットとしての活用、ノート・コピー用紙等の試作、環境負荷計算の検討等、間伐材を活用していくため、川上から川下まで試行的な取組を行い検証するなど、複合性を有した取組である。
	○ 先導性・モデル性 豊富な森林という地域資源を活用し、これまで売り物にならなかった雑木や小径木の活用や、二酸化炭素吸収量に着目し、地域産業の創出、持続的な森林資源の管理等による全国的な森林資源の危機的状況からの脱却という点で、先導性・モデル性のある取組である。
	○ 相乗効果・波及効果 カーボンオフセットや企業のCSRとして提案することにより、木材の販売にとどまらず、森林を経営資源として活用することによる相乗効果・波及効果が確認された。
	○ 評価 <input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。 (評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、豊富な森林という地域資源を活用し、これまで売り物にならなかった雑木や小径木の活用や、二酸化炭素吸収量に着目し、地域産業の創出、持続的な森林資源の管理を目指した、全国の森林資源の危機的な状況を脱するモデルとなる取組である。地域の幅広い構成員が連携し、それぞれの得意分野を活かして取り組んでいることが高く評価できる。 次年度以降については、本年度実施した試作品を具体的に普及する販売活動及びビジネスとして成立する仕組みづくりに重点を置き、地方の元気再生事業として支援を行うことにより継続的な展開が期待できるものである。 具体的には、 ①持続可能な安定供給体制の整備及び技術を受け継ぐための人材育成については、事業の核となる部分であり、確実に実施すべきである。また、②地域資源と活かした新商品の普及・宣伝・販売戦略を実施するにあたっては、kikito改修スペースの設置による販路拡大やインターネット販売のシステム構築など、ビジネスとして自律するための仕組みづくりに注力すべきあり、今年度、実施していない青空市場等の取組については、見直しを検討すべきである。また、③環境評価の導入手法については、本年度、実施しているため、独自の活動で行えるものと考えられる。